目 次

文化経済学会<日本>2020年度オンライン大会

≪凡例≫

各発表の討論者については、討論者氏名末尾の上付き数字と発表タイトル末尾の上付き数字を参 照してください。

表示例)

① - A 文化価値と文化財 ●座長:阪本 崇 ●討論者:清水 裕友立

タイトル	発表者
文化財まちづくりにおける矜持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を 通した持続可能なまちづくろいに関する研究 ¹	藤原 惠洋

分科会

①-A 文化施設 (09:30-10:10)

●座長:草加 叔也 ●討論者:佐々木 亨1/阪本 崇2

タイトル	発表者	頁
博物館の新たな在り方を模索するための体験学習・ワークショップ評価の構築 ¹	鳥谷 真佐子	
ミュージアムの財政分析 ―ミュージアムの定義の変更とその財政的裏づけをめぐって― ²	後藤 和子	

①-В 観光 (10:20-11:00)

●座長:八木 匡 ●討論者:岡田 智博1/八木 匡2

タイトル	発表者	頁
都市・文化政策における「夜」の研究可能性 -ヨーロッパの「夜間経済」に注目して― ¹	池田 真利子/ Christian Morgner	
花街のオーバー・ツーリズム―京都「おおきに財団」の施策を中心に―2	中原 逸郎	

①-C 文化支援(11:10-12:10)

●座長:川井田 祥子 ●討論者:菅野 幸子¹/三浦 留美²/太下 義之³

タイトル	発表者	頁
アートプロジェクトと地域振興:東京都の文化政策を事例に1	三浦 留美	
企業はなぜ芸術を支援するのか : 企業の芸術支援の類型化とステークホルダーへの効果 ²	川北 眞紀子	
エクイティ文化が東北復興支援に果たす役割の可能性 ³	有馬 昌宏	

②-A 創造都市·農村(13:00-14:00)

●座長:佐々木 雅幸 ●討論者:川崎 賢一1/野田 邦弘2/増淵 敏之3

タイトル	発表者	頁
趣味縁の場の新たな形について 〜流動的で複数テーマの趣味によるつながり〜¹	加藤 康子	
生物文化多様性から見た創造農村に関する研究。	竹谷 多賀子	
現代資本主義における地域の持続的発展と真正性を担保する文化的装置 ³	岩本 洋一	

②-в スポーツ (14:10-15:10)

●座長:太下 義之 ●討論者:町田 樹1/太下 義之2/八木 匡3

タイトル	発表者	頁
社会的価値を可視化するスポーツ文化の政策評価の検討 -社会的インパクト評価のアウトカム指標の視点から-1	米村 真吾/横山 勝彦	
「ロンドンオリンピック・ライブサイト」におけるコミュニティ形成 一文化的財としての「パブリックビューイング」を視点に—²	小林 塁/ 横山 勝彦	
スポーツ施設整備の資金調達に関する一考察 ―寄付に着目して―3	内藤 正和/ 横山 勝彦	

③-A 市民社会と文化(15:20-16:00)

●座長:友岡 邦之 ●討論者:吉田 隆之¹/井上 敏²

タイトル	発表者	頁
アートボランティアから市民社会を支える人材醸成の可能性を見る ~アート活動が生み出す緩やかな紐帯に注目して~ ¹	藤原 旅人	
1970・80 年代の文化行政における文化財保護の行方―埼玉県を事例として― ²	土屋 正臣	

③-B 文化統計 (16:10-16:50)

●座長:勝浦 正樹 ●討論者:牧 和生¹/中嶋 大輔²

タイトル	発表者	頁
Has Income Inequality Caused Consumption Inequality of Art and Culture in ${\tt Japan?^1}$	谷口 みゆき	
プロサッカーリーグにおける戦力均衡と売上高:日英の比較研究 ²	涌田 龍治	

③-C 伝統文化 (17:00-17:20)

●座長:野田 邦弘 ●討論者:清水 麻帆

タイトル	発表者	頁
地域農業と食文化の関係〜栗の生産振興の日仏比較より〜	森崎 美穂子	

*発表内容は予告なく変更されることがございます